

伊藤忠商事株式会社



- 所在地：東京都港区
- 従業員：4,187名
- 会社設立年：1949年
- 事業内容：トレーディング及び、事業投資

<https://www.itochu.co.jp/ja/index.html>

プロジェクト名

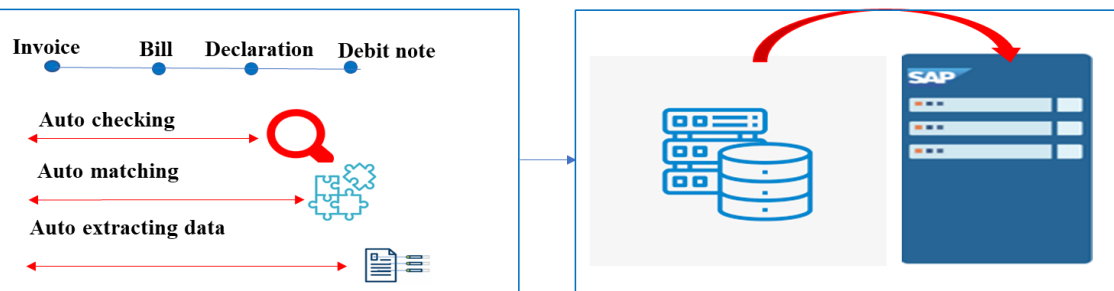
- ベトナムでAI 帳票自動処理システムを導入することによる繊維産業の業務効率化実証実験

現地企業や政府との協力・連携

- 現地パートナー：FPT telecom joint stock company
- 協力・連携の内容：システム開発

Phase 1: Automatic review document

Phase 2: Auto upload to SAP



現地の経済・社会課題

- ベトナムの繊維産業は同国の輸出のおよそ12-16%を占め、年率10%程度で成長を続けている。
- 一方で繊維産業特有の煩雑な書類処理も産業の拡大に伴い増えており、工場は土日も稼働を続ける事から、ワーカーが絶え間なく書類処理を行い続けねばならず、人件費や労働時間の上昇に繋がっている。

実証内容

- AIとRPA (Robotic Process Automation) を組み合わせたシステム Akabotの繊維産業の事務作業への導入及び、現場作業の効率化。
- 繊維産業の商慣習を踏まえ、まずはベトナムにてbillやinvoiceなど特定の帳票を自動処理できるようなシステムの構築および実装。
- ベトナム以外の国の帳票についても対応できるように、展開エリアの拡大を見据えたシステムの改築と、多国展開の実施。

期待される裨益効果

- 非常に労働集約的な繊維産業における帳票・データの処理業務を自動化することで、労働環境の改善および、より知識集約的労働にリソースを向けられる環境の構築を推進する。
- ベトナム同様に繊維産業が台頭しているカンボジアやミャンマーなど、同じASEAN域内の他国へのサービスの横展開を進め、ASEAN全域における繊維産業の効率化。